

施策3 生ごみや剪定枝等の減量化・資源化

(1) 生ごみの減量化・資源化の推進(計画書 P35-P36)

| A 事業 | B 取り組み内容 | C H29.4 方針 | D 進捗状況 | E 効果、課題・問題点等 | F R5.4 方針 (案) | G 見直し(案) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|------------------|---|---|------------------------|--|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|--|----|---|
| ① 生ごみの減 量化・全量 資源化の展 開 | <p>1</p> <p>生ごみの減容化・資源化モデル事業を継続</p> <p><概要> 家庭系ごみの多くを占める生ごみの処理に多大なエネルギーとコストを要しているため、継続して生ごみの減容化・資源化モデル事業を行う。</p> | 継続 | <p>●H21年度からH30年度まで「生ごみ減容化(HDMシステム)及び堆肥化」を導入。</p> <p>●平成30年度をもって事業終了</p> | <p>●生ごみの資源化により、資源化率の向上につながる。</p> <p>●生ごみに異物や不適合物が混入することで、堆肥として使用できなくなる。</p> <p>●焼却処理と比較して多大な経費がかかる。 (主に施設運転委託と回収業務委託)</p> <p>【H28年度実績】 焼却処理：27,772円/t 減容化：51,678円/t</p> <p>●堆肥製造設備である大地のめぐみ循環センター設備の老朽化に伴い、機器の更新及び修繕が必要。</p> <p>●自治体が施設を使用し生ごみの堆肥化、減容化を行う場合には、費用対効果について検討していくことが必要。</p> <p>●協力世帯数の低迷により、対象世帯の50%に届かない状況となった。生ごみの分別排出に係る住民負担があったと思われる。</p> | 継続 | <p>●設備を使用した上での事業としては終了とする。</p> <p>タイトルを「<u>生ごみの減容化・資源化の調査・研究</u>」に変更し、減容化、資源化の方策を検討していく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>2</p> <p>家庭用生ごみ処理容器等購入費補助制度を見直し</p> <p><概要> 家庭から排出される生ごみの減量化の一環として、生ごみ処理容器等を購入した者に対し、その購入に係る経費の一部を補助することにより、生ごみリサイクルを推進し、ごみの発生源での減量化、ごみ処理に対する認識を高める。</p> | 継続 | <p>●購入金額の1/2(ポイント利用分は補助対象外)を補助するもの。対象機器は、コンポスト・EM処理容器・電気式生ごみ機。</p> <p>【宮代町の補助実績】</p> <table border="1" data-bbox="1038 1407 1573 1575"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンポスト</td> <td>3基</td> <td>0基</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td>EM</td> <td>0基</td> <td>0基</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>電気式</td> <td>9基</td> <td>11基</td> <td>6基</td> </tr> </tbody> </table> | | R1 | H30 | H29 | コンポスト | 3基 | 0基 | 6基 | EM | 0基 | 0基 | 2基 | 電気式 | 9基 | 11基 | 6基 | <p>●自宅の生ごみを減量できることや、堆肥が作れることから、循環した仕組みが個人でもできる。</p> <p>●種類によっては場所を確保する必要がある。</p> <p>●コンポストに不向きなものを投入しないように注意する必要がある。</p> | 集約 | <p>●施策3(1)の6「家庭における生ごみ堆肥化の支援(アドバイス、指導)」に集約し、引き続き継続して実施する。</p> <p>集約先の新タイトル↓ <u>生ごみの減容化・堆肥化の支援(アドバイス、指導)</u></p> |
| | R1 | H30 | H29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンポスト | 3基 | 0基 | 6基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| EM | 0基 | 0基 | 2基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電気式 | 9基 | 11基 | 6基 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| A 事業 | B 取り組み内容 | C H29.4 方針 | D 進捗状況 | E 効果、課題・問題点等 | F R5.4 方針 (案) | G 見直し(案) |
|---------|---|------------------|--|--|------------------------|--|
| | <p>(★) 生ごみの水切り、エコクッキングの普及</p> <p>＜概要＞ 生ごみを水切りして出すことや、購入した食材をエコクッキングするなど、食品残渣を最小限にすることを普及させる。</p> | 推進 | <p>●生ごみの水切り方法や食品ロスの記事内容に絡めて、エコクッキング実施のために出来ることを衛生組合だよりや、HPに掲載している。</p> | <p>●具体的な内容で紹介することで普段の生活に取り入れてもらえるようにしている。</p> <p>●なぜ行わなければならないのかの理由も一緒に掲載することで住民意識を高めるように工夫をしている。</p> | 集約 | <p>●新タイトルとして「生ごみ減量化、資源化の普及・啓発」を設定、その中に集約し、引き続き継続して実施する。</p> |
| | <p>(★) 段ボールコンポストの普及</p> <p>＜概要＞ 段ボールコンポストによる堆肥化を実施することで、ごみの減量化やごみを出さないことを目指す。</p> | 推進 | <p>●久喜宮代衛生組合のHPにて段ボールコンポストについての内容を掲載。</p> | <p>●家庭用生ごみ処理機の貸出や補助金制度を活用する他に、手軽に始められる入口として推進している。</p> | 集約 | <p>●新タイトルとして「生ごみ減量化、資源化の普及・啓発」を設定、その中に集約し、引き続き継続して実施する。</p> |
| | <p>生ごみ堆肥を使用した家庭菜園講座を実施</p> <p>＜概要＞ 生ごみ堆肥を使用した家庭菜園講座を開催し、堆肥の活用機会を提供する。</p> | 継続 | <p>【開催実績】 H27の8月に開催</p> <p>【参加人数】 10名募集のうち24名。(うち宮代町民4名)</p> | <p>●段ボールコンポストを使った堆肥化、堆肥を活用した野菜づくりを学ぶ機会を提供。</p> <p>●生ごみの堆肥化の方法についても学びたいとの声が多く出ていた。</p> | 集約 | <p>●施策3(1)の6「家庭における生ごみ堆肥化の支援(アドバイス、指導)」に集約し、堆肥化の手法の一つとして検討する。</p> <p>集約先の新タイトル↓ 生ごみの減容化・堆肥化の支援(アドバイス、指導)</p> |
| | <p>(★) 家庭における生ごみ堆肥化の支援(アドバイス、指導)</p> <p>＜概要＞ 家庭における生ごみ堆肥化の支援を行う。</p> | 推進 | <p>●家庭でできる堆肥化の方法として、段ボールコンポストの紹介や、堆肥化容器等の購入補助、機器の貸出制度を用意している。</p> | <p>●各家庭に合った対応方法を各種用意することができている。</p> <p>●負担にならずに堆肥化に取り組むことができる情報提供の仕方が課題。</p> <p>●堆肥化の支援をする上で、作成した堆肥の処理先をどうするかが課題。</p> | 継続 | <p>●タイトルを「生ごみの減容化・堆肥化の支援(アドバイス、指導)」に変更し、引き続き実施していく。</p> |
| | <p>(★) 生ごみの多様な利用の検討</p> <p>＜概要＞ 生ごみを使って、動物の飼料にすることが可能か否かの検討を含め、生ごみの多様な利用を検討します。</p> | 推進 | <p>●検討は行っていない。</p> | <p>●町内にバイオマス活用の事例がある。</p> <p>●他自治体における利用の参考事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市バイオマス活用推進計画 ・金沢市ベジタくる〜ん制度 | 集約 | <p>●施策3(1)1の「生ごみの減容化・資源化モデル事業を継続」に集約し、検討を行っていく。</p> <p>集約先の新タイトル↓ 生ごみの減容化・資源化の調査・研究</p> |

| A 事業 | B 取り組み内容 | | C H29.4 方針 | D 進捗状況 | E 効果、課題・問題点等 | F R5.4 方針 (案) | G 見直し(案) |
|---------------------|-------------|---|------------------|---|---|------------------------|--|
| | 8 | <p>(★) 生ごみリサイクルハンドブックの作成</p> <p>＜概要＞ 生ごみリサイクルの普及、啓発を図るための生ごみリサイクルの方法や事例等を分かりやすく整理した、生ごみリサイクルハンドブックの作成を検討する。</p> | 推進 | <p>●作成していない。</p> | <p>●作成していく上で、費用対効果を検証していく必要がある。</p> | 集約 | <p>●新タイトル「生ごみ減量化、資源化の普及・啓発」に集約し、広報、ホームページ等を活用し、生ごみリサイクルについて発信していく。</p> |
| ② 事業系の生ごみの資源化の推進 | 9 | <p>業務用生ごみ処理機購入費補助を継続</p> <p>＜概要＞ 飲食店やスーパーマーケット等から排出される事業系ごみには厨芥類(生ごみ)が多く含まれているため、業務用生ごみ処理機購入費補助を継続して、資源化を推進する。</p> | 継続 | <p>●R3年度から(本体費用+設置費用)の2/3、200万円を限度に補助をするもの。</p> <p>【補助実績】 R3 1件 R2 0件 R1 0件</p> | <p>●埼玉県内では久喜宮代衛生組合のみが実施している事業で、ほとんど利用がない。</p> <p>●事業者への制度の認知度や、ごみ処理機の需要の有無を把握する必要がある。</p> | 集約 | <p>●A事業欄②を①「生ごみの減量化・全量資源化の展開」に集約</p> <p>●施策3(1)6「家庭における生ごみ堆肥化の支援(アドバイス・指導)」に集約し、導入している事業者の活用方法を紹介するなど、広く制度についてPRしていく。</p> <p>集約先の新タイトル↓ 生ごみの減容化・堆肥化の支援(アドバイス、指導)</p> |

★：これまでの取り組みに加えて実施する、あるいは特に力を入れて実施する取り組み(H29.4策定時)